

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	→ 1	1	百日咳	↓ 0	1
RSウイルス感染症	↗ 41	19	ヘルパンギーナ	↓ 55	66
咽頭結膜熱	↗ 47	30	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓ 4	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 35	32	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 252	145	流行性角結膜炎(はやり目)	↓ 3	12
水痘	↓ 37	38	細菌性髄膜炎	↓ 0	1
手足口病	↓ 51	80	無菌性髄膜炎	→ 3	3
伝染性紅斑(りんご病)	→ 0	0	マイコプラズマ肺炎	↗ 2	0
突発性発しん	↓ 34	35	クラミジア肺炎	→ 0	0

**報告が多い感染症**

- 感染性胃腸炎
- ヘルパンギーナ
- 手足口病

- 感染性胃腸炎 報告数:252件(前週:145件)  
地区別:菊池、有明、人吉  
年齢別:1歳 51件(20.2%)
- ヘルパンギーナ 報告数:55件(前週:66件)  
地区別:天草、菊池、水俣  
年齢別:1歳 19件(34.5%)
- 手足口病 報告数:51件(前週:80件)  
地区別:天草、菊池、八代、宇城  
年齢別:1歳 18件(35.3%)

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所		9	3	11	38	9	9		7		6	1		3		3		
山鹿保健所			21		8	1	1		1		1		*	*				
菊池保健所		9	7	12	74	16	10		6		18	1						
阿蘇保健所					2								*	*			1	
御船保健所					2								*	*				
八代保健所		5		1	22	3	7		2		2							
水俣保健所		4	1		11				3		3		*	*				
人吉保健所		6		3	25	1	2		4		1		*	*				
有明保健所	1	4	2	3	50	2	5		4		1	2						
宇城保健所		4	9	2	19	5	7		1		3		*	*				
天草保健所			4	3	1		10		6		20						1	
計	1	41	47	35	252	37	51	0	34	0	55	4	0	3	0	3	2	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	
インフルエンザ	1						1															
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上							
RSウイルス感染症	41	9	9	17	2	3	1															
咽頭結膜熱	47		1	4	12	6	9	7	4	2	1	1										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	1			3	2	6	3	4	5	3	3	5									
感染性胃腸炎	252	7	22	51	38	20	21	24	8	10	9	25	4	5								
水痘	37		3	3	14	6	5	2	1	3												
手足口病	51	1	4	18	15	6	2	1	3			1										
伝染性紅斑	0																					
突発性発しん	34		17	12	3	2																
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	55	2	3	19	7	11	3	3			2	3	2									
流行性耳下腺炎	4				1	1		1					1									
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	3																1	1	1			
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	3		2		1																	
マイコプラズマ肺炎	2							1										1				
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生  
又は継続しつつある地域

- ヘルパンギーナ:天草
- 咽頭結膜熱:山鹿

【RSウイルス感染症に注意が必要です】

RSウイルス感染症に注意が必要です

RSウイルス感染症は、冬季に流行する感染症で、例年、今頃の時期から報告数が増え始めます。今年は、7月下旬からじわじわと報告が増え始めました。昨年は、9~10月に流行しましたので、今後の動向に注意が必要です。年齢別では、1歳以下が85%を占めています。

症状は一般的に、鼻水、咳、発熱などいわゆる「かぜ」のような症状がみられ、1~2週間で軽快します。2歳頃までに、ほぼ全ての人がかかっていますが、初めてかかった場合、約3分の1に細気管支炎や肺炎などを起こします。特に生後6ヶ月以内の乳児や、早期産で出生した乳児、循環器疾患のある乳児では重症化しやすいので注意が必要です。また、一度感染しても再び感染することもあります。

ウイルスは咳やくしゃみのしぶきから感染します。流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない、症状のある家族はマスクをする、外出後の手洗いをきちんと行うなど、乳幼児がいる家庭では、家族全員で予防しましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課